



2025 年 11 月 7 日

各 位

会社名 株式会社アイ・ピー・エス
銘柄名 株式会社 I P S
代表者名 代表取締役 宮下 幸治
(コード番号：4390 東証プライム)
問合せ先 管理部長 赤津 博康
(TEL. 03-3549-7719)

第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値の差異に関するお知らせ

2025 年 5 月 9 日に公表しました 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）の連結業績予想数値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2026 年 3 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値の差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する中間純利益 | 1 株当たり 中間純利益 |
|---------------------------|--------------|--------------|--------------|---------------------|-----------------|
| 前回発表予想（A） | 百万円 8,200 | 百万円 2,000 | 百万円 1,800 | 百万円 900 | 円 銭 69.43 |
| 実績値（B） | 7,854 | 2,351 | 2,314 | 1,607 | 123.95 |
| 増減額（B－A） | △345 | 351 | 514 | 707 | — |
| 増減率（％） | △4.2 | 17.6 | 28.6 | 78.6 | — |
| （ご参考） 2025 年 3 月期中間期実績 | 7,744 | 2,339 | 1,588 | 961 | 74.62 |

2. 差異の理由

当中間連結会計期間（2025 年 4 月 1 日～2025 年 9 月 30 日）は、国際通信事業において、通信機器販売を伴うネットワーク構築サービスによる収益が前年同期をやや下回ったことなどから、売上高は前回予想を下回りました。一方、通信回線の大口・小口の容量提供や、国内通信事業における主力のコールセンターソリューションを中心とした堅調な事業環境などから、営業利益は前回予想を上回りました。

これに加えて、期末為替レートが円安となったことなどにより、当社グループが保有する外貨建債権債務の期末為替レートによる評価替えに伴い、営業外収益（為替差益）を計上した結果、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益についても、前回予想を上回りました。

当社グループの当中間連結会計期間の業績は、セグメント間では事業の進捗に差異があるものの、全体としてはおおむね計画どおりに推移しておりますので、2026 年 3 月期通期の連結業績予想につきましては、2025 年 5 月 9 日に公表した数値に変更はありません。

以 上